

市民参加ガイドライン部会の議論について

1 これまでの活動経過

(1) 部会の開催

平成20年10月から6回開催

「市民参加ガイドラインの構成」(第2案)を作成〔資料8参照〕

(2) 市民参加円卓会議の開催

平成21年3月1日に、職員を対象として、①「本市の市民参加の現状」と②「今後何を目指して市民参加を仕掛けていくのか」というテーマでワークショップを実施〔資料9参照〕

2 今後の取組

(1) 「市民参加ガイドライン」の構成

- ① 職員が理解をしやすいよう、市民参加にはどのようなものがあるか（審議会やパブコメなど市政への参加、公園などの計画づくりへの参加、地域やNPOなどとの協働など）を述べたうえで、それぞれについての考え方、マニュアル、Q&Aを記述する。
- ② 職員の悩みに経験豊富な職員が答えるといった職員による対話形式を取り入れることも検討。
- ③ 市民参加は「しなくてはならない」ものとしてではなく、職員が持っている「市民に喜ばれる仕事をしたい」という気持ちに寄り添うことのできるガイドラインにする。

(2) 市民参加の機運を高める取組

- ① 市民参加の経験が豊富なメンバーをコアにして取組を進めていき、参加をしたいがどうしたらいいか分からない、きっかけがない、という職員を引き上げて、参加のムーブメントを起こしていきたい。市民参加の経験のない若手を対象にワークショップを実施していくことしたいが、具体的な取組はこれから検討していく。
- ② 市職員にもガイドラインづくりに参加してもらうようにしたい。